

④ 血液検査サーベイ実施の手引

Ⅰ. 概要と試料の取り扱い

本年度は、凝固部門と形態部門（フォトサーベイ）の調査を行い、全ての設問が評価問題となります。前年度調査では、データの入力ミス等が少なからず見受けられました。データ等の入力には細心の注意をお願いします。

【対象項目一覧】

- (1) 凝固部門 プロトロンビン時間・活性化部分トロンボプラスチン時間・フィブリノゲン量
 (2) 形態部門 フォトサーベイ

1. 試料一覧

試料番号	43	44
試料内容	凍結乾燥血漿	凍結乾燥血漿
検査項目（コース） 容量	1.0 mL	1.0 mL
プロトロンビン時間	●	●
活性化部分トロンボプラスチン時間	●	●
フィブリノゲン量	●	●

【試料取扱注意事項】

- ▶ 試料は感染の危険性があるものとし、その取り扱いには十分注意してください。
- ▶ 試料を受け取りましたら速やかに外観上の確認をお願いします。万が一、試料に破損等が認められ測定データの信頼性に疑義が生じる場合は、事務局へご連絡ください。

Ⅱ. サーベイ実施方法及び注意事項

1. 参加項目設定とコード選択時の注意事項

参加項目設定で参加にチェックしてください。チェックがない項目は回答できません。
 測定方法・検量方法・測定試薬・測定機器の該当コード表は、回答入力画面のPDF ファイルを参照してください。また、該当コードがない場合は：「その他」を選択してください。
 試料の測定値が記入されていても、解析に必要な設問に空欄があると評価が行えませんので最後に必ず【未入力チェック】を実施してください。

- 機器コードは測定装置分類コード表の中より血液部門の機器について、アルファベットを含むコードを入力してください。なお、用手法は AAZ901 を入力してください。
- 測定結果は、参加施設向けシステムのサイトで入力してください。
- 測定結果・測定単位および機種・試薬・細胞等のコード入力間違いのないようお願いします。入力ミス等は集計から外れることがありますので注意してください。
- 測定値入力時には単位変換や測定試料の取り扱い等による誤報告を防ぐために、予め得られたデータに基づいて、「想定されるデータを超えています。単位・試料等の確認をお願いします」とのワーニングが出る場合があります。この場合、再度測定値を確認し入力をお願いします。予めご了解をお願いします。

2. 凝固試料の溶解

- 試料 43、44 は室温に 15 分ほど静置して室温になじませてください。
- 試料 43、44 に蒸留水 1.0mL を正確に加え溶解してください。
- 蒸留水を加えたままの状態室温に 30 分間静置してください。
- 静かに転倒混和をくり返し行い、十分に混和してください。(激しく振り、泡立てるようなことは絶対に避けてください)

3. プロトロンビン時間測定について

- 試料 43、44 について自施設の組織トロンボプラスチン時間測定試薬を用いてプロトロンビン時間を測定し、小数点の位置に充分注意して測定秒数を入力してください。
- 自施設で測定に使用した機種は測定装置コード表より選び、コード番号を入力してください。
- 自施設で測定に使用した組織トロンボプラスチン試薬の種類を凝固関連コードⅠ.プロトロンビン時間測定試薬マスターリストより選び、入力してください。リストにない試薬は 991001 (その他)を入力してください。
- 組織トロンボプラスチン試薬の ISI (International sensitivity index) 値は、メーカー設定 ISI 値は 1、ローカル SI 値は 2、ISI 値設定無しは 3の何れかを入力し、さらに ISI 値またはローカル SI 値を入力してください。ISI 値の設定がない場合 ISI 値は入力不要です。
- 評価は入力された、試料 43、44 の測定秒数と ISI 値またはローカル SI 値から INR を自動で計算して評価いたします。(INR の入力は不要です)

4. 活性化部分トロンボプラスチン時間測定について

- 試料 43、44 について自施設の活性化部分トロンボプラスチン時間測定試薬を用いて活性化部分トロンボプラスチン時間を測定し、小数点の位置に充分注意して測定秒数を入力してください。
- 自施設で測定に使用した機種は測定装置コード表より選び、コード番号を入力してください。
- 自施設で測定に使用した活性化部分トロンボプラスチン時間測定試薬の種類を凝固関連コードⅡ.活性化部分トロンボプラスチン測定試薬マスターリストより選び、コード番号を入力してください。リストにない試薬は 991001 (その他)を入力してください。

5. フィブリノゲン量測定について

- 試料 43、44 について自施設のフィブリノゲン量測定試薬を用いてフィブリノゲン量を測定し、濃度または換算濃度を整数で入力してください。
- 自施設で測定に使用した機種は測定装置コード表より選び、コード番号を入力してください。
- 自施設で測定に使用したフィブリノゲン量測定試薬の種類を凝固関連コードⅢ. フィブリノゲン量測定試薬マスターリストより選び、入力してください。リストにない試薬は 991001（その他）を入力してください。
- 校正に用いた校正用物質をⅣ. フィブリノゲン量標準物質（キャリブレーター）マスターリストより選び記入してください。記入がないと集計ができないことがあります。リストにない場合は 991001（その他）を入力してください。

6. フォトサーベイについて

設問 1（写真 1）MG 染色（1000 倍）

末梢血液像です。矢印の細胞を分類するとすれば、最も考えられるものを血液像関連コードより選んでください。

参考データ：70 歳代 男性

WBC 6.74×10^3 / μ L, RBC 3.19×10^6 / μ L, Hb 9.1 g/dL, Ht 27.5%, MCV 86.0 fL,

MCH 28.5 pg, MCHC 33.1 g/dL, PLT 581×10^3 / μ L, Reti 2.76%, *JAK2* V617F 変異(+)

T-Bil 1.6 mg/dL, AST 24 U/L, ALT 15 U/L, LD_IFCC 432 U/L, UN 18.6 mg/dL, CRE 0.57 mg/dL

設問 2（写真 2）MG 染色（1000 倍）

設問 1 と同一の末梢血液像です。矢印の細胞を分類するとすれば、最も考えられるものを血液像関連コードより選んでください。

設問 3（写真 3）MG 染色（1000 倍）

設問 1 と同一の末梢血液像です。矢印の細胞を分類するとすれば、最も考えられるものを血液像関連コードより選んでください。

設問 4（写真 4）MG 染色（1000 倍）

末梢血液像です。矢印の細胞を分類するとすれば、最も考えられるものを血液像関連コードより選んでください。

参考データ：50 歳代 女性

WBC 4.68×10^3 / μ L, RBC 3.97×10^6 / μ L, Hb 12.2 g/dL, Ht 36.8%, MCV 92.7 fL,

MCH 30.8 pg, MCHC 32.2 g/dL, PLT 282×10^3 / μ L

T-Bil 3.4 mg/dL, D-Bil 2.5 mg/dL, AST 363 U/L, ALT 454 U/L, LD_IFCC 150 U/L,

γ -GTP 126 U/L, UN 8.3 mg/dL, CRE 0.48 mg/dL, CRP 0.23 mg/dL

設問 5 (写真 5) MG 染色 (1000 倍)

末梢血液像です。矢印の細胞を分類するとすれば、最も考えられるものを血液像関連コードより選んでください。

参考データ：10 歳未満 男児

WBC 11.92×10^3 / μ L, RBC 4.79×10^6 / μ L, Hb 13.3 g/dL, Ht 41.4%, MCV 86.5 fL,

MCH 27.8 pg, MCHC 32.2 g/dL, PLT 169×10^3 / μ L

T-Bil 0.4 mg/dL, AST 100 U/L, ALT 150 U/L, ALP_IFCC 200 U/L, LD_IFCC 424 U/L,

γ -GTP 115 U/L, UN 6.0 mg/dL, CRE 0.60 mg/dL, CRP 0.73 mg/dL

設問 6 (写真 6) MG 染色 (1000 倍)

末梢血液像です。矢印の細胞を分類するとすれば、最も考えられるものを血液像関連コードより選んでください。

参考データ：60 歳代 女性

WBC 7.70×10^3 / μ L, RBC 4.11×10^6 / μ L, Hb 13.1 g/dL, Ht 37.5%, MCV 91.2 fL,

MCH 31.9 pg, MCHC 35.0 g/dL, PLT 223×10^3 / μ L

TP 6.0 g/dL, ALB 3.3 g/dL, AST 20 U/L, ALT 12 U/L, LD_IFCC 281 U/L, γ -GTP 12 U/L,

UN 13.4 mg/dL, CRE 0.61 mg/dL, Ca 9.8 mg/dL, CRP 0.43 mg/dL, sIL-2R 5,213 U/mL,

抗 HTLV-1 抗体(+)

Ⅲ. 問い合わせ先

血液検査精度管理調査に関する不明な点、疑問点等についての問い合わせは、施設コード、施設名、担当者氏名を明記のうえ Mail で下記の担当者へお願い致します。

お返事に時間がかかることがあります。時間に余裕を持ってお問い合わせください。

【血液検査担当】

(凝固部門)

古賀 紳也

大分大学医学部附属病院

Mail shinya-koga@oita-u.ac.jp

(形態部門)

曾我 泰裕

大分大学医学部

Mail y-soga@oita-u.ac.jp

【血液像関連コード（フォトサーベイ）】

[illegible]